

ディケンズ・フェロウシップ日本支部講演会

(9月18日(土)午前10:00~11:10 Zoomによるオンライン開催)

司会: 中村隆(山形大学教授)

ディケンズとイギリス演劇史

Dickens and the History of English Drama

講演: 原 英一(東北大学名誉教授)

Eiichi Hara (Professor Emeritus, Tohoku University)

ディケンズと演劇の関係の深さは、いまさら言うまでもない。しかし、16世紀以降のイギリス演劇の長い歴史と彼の小説との関係は、必ずしも適切に理解されないままになっているのではないか。ジョージ・リロ(George Lillo)の『ロンドン商人』*The London Merchant* (1731)やジョン・ゲイ(John Gay)の『乞食のオペラ』*The Beggar's Opera* (1728)がディケンズに与えた影響はよく知られているが、この二つの18世紀の芝居が、演劇史を変革するほどの衝撃を与える、きわめて革新的なものであったという重要な事実は、ほとんど意識されていない。さらに、ベン・ジョンソンなど、エリザベス朝・ジェームズ朝演劇とディケンズとの有機的な結びつきは、知識としては持たれていても、実際に、直接的に把握されることはあまりない。ヴィクトリア朝でメロドラマが隆盛した要因、メロドラマ的要素のディケンズ小説での顕現は、16世紀末以降のイギリス演劇史を理解することによって、初めて歴史的に位置づけを与えられ、深く理解されることになる。